

## 樟葉駅周辺交通環境に関して

05/2/16 末岡、鎌田

表記のことに關しては、ひらかたネットワーク会議公共交通部会で、1月16日にフィールドワーク及び討論、また、2月14日に討論を行った。

それらの中で、出てきた意見を列挙する。

公共交通部会としての結論ではない。

### 1, 現状の問題点、バスのスムーズな運行を妨げている問題

送迎用の一般車が、駅前広場のメインのロータリーに入り込み、時間待ちもあるため、バスの運行に支障することがある。年間十件程度事故も起きている。

楠葉中央交差点から駅前までの楠葉中央線に過度の交通が集中し、バスのスムーズな運行を妨げている。

### 2, それらの対策

の対策

- 本来一般車が寄りつくところ、現在タクシーバースがあるところ、一般者用に1車線しか残されてないため、1台が停車するとほかの車が進入できない。2車線を確保するため、斜線幅を広げる。(花壇を削る方法があるのではないか。または、タクシーの車線を1車線にする。)
- 北側サブ広場の活用。車がスムーズに来れるように。また、駅までの間、雨に濡れない対策。
- そういう対策を施した上で、メインのロータリーに一般車進入を禁止する。

の対策

- 樟葉西小学校北側の道路を対面通行にすることが考えられる。
- これに關しては、地元に住んでいる立場からすると、住環境を損なうおそれのある対面通行化は容認できない、の意見あり。
- 歯科大北側の道路、交番から南への道路の一方通行を見直す。
- 船橋からパルコープくずは西店にいたる道路の活用。

### 3, 今後の進め方の提案

- (1) 特に、 の対策に關して、一方通行規制の見直し等、交通システムを2~3案作成し、交通や環境の予測を行った上で、地域住民を巻き込んだワークショップにより、時間をかけて検討する方法。もちろん、提示案以外の案が出てきてもOK。

その際の留意点としては、

- 公共交通としてのバスの運行をスムーズにするという目標を明確にする。
- 自治会代表ということではなしに、ワークショップに参加する人を公募する。
- 主催者は市とし、ネットワーク会議が協力。

- (2) 自家用車を減らすための手段として、自転車活用を考え、駅前や拠点施設でのレンタサイクルの社会実験を行う。有効性が検証されれば本格実施へ向かう。